

平成 27 年度
瑞浪市教育委員会
点検評価報告書
(平成26年度事業)

平成 27 年 8 月
瑞浪市教育委員会

目 次

I. 点検評価の概要	・・・1
はじめに	・・・1
点検評価の区分	・・・1
II. 教育委員会の活動状況	・・・2
III. 各課の事業評価	・・・6
教育総務課	・・・6
学校統合推進室	・・・16
学校教育課	・・・19
学校給食センター	・・・31
社会教育課	・・・34
スポーツ文化課	・・・46
IV. 教育委員会点検評価委員会のまとめ	・・・63

I. 点検評価の概要

はじめに

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会においては、毎年教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないことが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「瑞浪市教育委員会点検評価実施要領」の規定に基づき、瑞浪市教育委員会が平成26年度の教育委員会事務事業の点検及び評価を行い、瑞浪市教育委員会点検評価委員会の意見を付して報告するものです。

<参 考>

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

点検評価の区分

点検評価は、教育委員会の事務事業の執行状況について、実績や成果と課題を記述し、次に示す4区分により達成度の評価を行いました。

- A・・・順調に達成している
- B・・・おおむね順調に達成している
- C・・・達成見込みであるが課題がある
- D・・・順調でない

Ⅱ. 教育委員会の活動状況

本年度の教育委員会は、定例会 12 回と臨時会を 2 回行い、議案 49 件について審議しました。

会議では、議案の審議が厳正に行われ、その後に開催する委員会協議会では、委員からの情報提供や、事務局からの事業の進捗状況及びその他の関連事項について、活発な意見交換が行われました。

主な活動状況として、教育関係のイベント・式典や東濃西部教育委員研修協議会等に参加いたしました。視察については、研究発表校に指定された陶小学校、瑞浪中学校、竜吟幼稚園を訪問するなど、学校教育の現状を教育委員の立場から確認しました。

また、中学校統合準備委員会に参加し、その状況や委員の意向を把握し、教育委員会として提言してきました。

教育功労者表彰については、瑞浪市教育委員会表彰規則に基づき、教育・学術及び文化の振興発展に貢献のあった、児童・生徒 1 人、学校 1 校、一般 16 人の表彰を行いました。

さらに、平成 26 年 6 月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が公布され、教育委員会制度が大きく変わる中、今までの教育委員会制度の課題や今後の教育行政のあり方について勉強会を実施しました。

なお、教育委員会で審議された案件は次ページのとおりです。

瑞浪市教育委員（H27.3.31 現在）

職 名	氏 名	任期満了日	備 考
委員長	みすの 水野 まさよ 昌代	平成 28 年 9 月 30 日	
委 員	かとう 加藤 ひろゆき 博之	平成 29 年 9 月 30 日	委員長職務代理者
委 員	や の 矢野 もとこ 元子	平成 27 年 9 月 30 日	
委 員	ごしま 五嶋 ひさとし 久年	平成 30 年 9 月 30 日	
委 員	ひらばやし 平 林 みちひろ 道博	平成 28 年 9 月 30 日	教育長

平成 26 年度 教育委員会審議案件等一覧

回	議案番号	件 名	開催年月日
5	第 23 号	瑞浪市教育委員会点検評価委員の委嘱について	平成 26 年 4 月 22 日
	第 24 号	瑞浪市社会教育委員の委嘱について	
	第 25 号	瑞浪市図書館協議会委員の委嘱について	
	第 26 号	瑞浪市化石博物館協議会委員の任命について	
	第 27 号	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館協議会委員の任命について	
	第 28 号	瑞浪市学校給食センター運営委員の委嘱について	
	第 29 号	瑞浪市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則の一部を改正する規則の制定について	
	第 30 号	平成 26 年度瑞浪市教育費にかかる 6 月補正予算（第 1 号）について	
6	第 31 号	平成 27 年度使用教科書の採択について	平成 26 年 5 月 29 日
	第 32 号	平成 26 年度岐阜県教科用図書東濃地区採択協議会委員及び研究員の推薦について	
7		議案なし	平成 26 年 6 月 20 日
8	第 33 号	瑞浪市立学校の施設設備の利用に関する規則の一部を改正する規則の制定について	平成 26 年 7 月 17 日
	第 34 号	瑞浪市化石博物館の休館日の追加について	
	承第 1 号	専決処分の報告について（平成 26 年度瑞浪市一般会計補正予算）（第 2 号）	
9	第 35 号	平成 26 年度瑞浪市教育費にかかる 9 月補正予算（第 3 号）について	平成 26 年 8 月 12 日
	第 36 号	平成 26 年度瑞浪市教育委員会点検評価報告書（平成 25 年度事業）について	
	第 37 号	平成 27 年度使用小・中学校用教科用図書東濃地区採択について	
	第 38 号	瑞浪市陶磁資料館の休館日の追加について	
10	第 39 号	平成 26 年度瑞浪市教育功労者の選定について	平成 26 年 9 月 18 日

回	議案番号	件名	開催年月日
11		議案なし (委員長の選挙、委員長職務代理者の指定、委員の議席順の決定)	平成 26 年 10 月 1 日
12	第 40 号	瑞浪北中学校(仮称)ゼロエネルギー化検討委員会設置要綱の制定について	平成 26 年 10 月 23 日
	第 41 号	瑞浪市児童生徒学業支援員配置要綱の一部を改正する訓令の制定について	
	第 42 号	瑞浪市陶磁資料館の休館日の追加について	
13	第 43 号	平成 26 年度瑞浪市教育費にかかる 12 月補正予算(第 5 号)について	平成 26 年 11 月 27 日
	第 44 号	瑞浪市小学校及び中学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
14	第 45 号	瑞浪市幼稚園の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	平成 26 年 12 月 25 日
	第 46 号	平成 26 年度末瑞浪市教職員定期人事異動方針について	
1	第 1 号	瑞浪市立小学校及び中学校の就学区域を定める規則の一部を改正する規則の制定について	平成 27 年 1 月 29 日
	第 2 号	瑞浪市適正就学指導委員会規則の一部を改正する規則の制定について	
	第 3 号	瑞浪市キャリア教育推進委員会設置要綱の制定について	
	第 4 号	瑞浪市社会教育委員の委嘱について	
2	第 5 号	瑞浪市加知奨学基金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	平成 27 年 2 月 20 日
	第 6 号	瑞浪市奨学基金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	
	第 7 号	瑞浪市幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
	第 8 号	瑞浪市生涯学習推進委員会設置要綱の制定について	
	第 9 号	平成 26 年度瑞浪市教育費にかかる 3 月補正予算(第 7 号)について	
	第 10 号	平成 27 年度瑞浪市教育費にかかる予算について	
	第 11 号	瑞浪市中央公民館の特別に開館する日について	
	第 12 号	瑞浪市民図書館の特別に開館する日及び特別に休館する日の承認について	

回	議案番号	件 名	開催年月日
2	第 13 号	瑞浪市化石博物館の特別に開館する日について	平成 27 年 2 月 20 日
	第 14 号	瑞浪市市之瀬廣太記念美術館の特別に開館する日について	
	第 15 号	瑞浪市陶磁資料館の特別に開館する日について	
	第 16 号	瑞浪市地球回廊の特別に開館する日について	
	第 17 号	瑞浪市民体育館の特別に開館する日について	
	第 18 号	瑞浪市日吉スポーツ施設の特別に開館する日について	
3	第 19 号	人事異動の概要及び異動について	平成 27 年 3 月 6 日
4	第 20 号	平成 27 年度瑞浪市の教育の方針と重点について	平成 27 年 3 月 19 日
	第 21 号	補助執行に係る協議について	
	第 22 号	瑞浪市幼稚園の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	
	第 23 号	瑞浪市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の廃止について	
	第 24 号	瑞浪市文化財審議会委員の委嘱について	

※提案された案件については、全て可決又は承認されました。

Ⅲ. 各課の事業評価

教育総務課

方 針	教育全般にわたる諸施策を積極的かつ円滑に推進するための環境づくりに努めるとともに、教育委員会所属各課との連絡調整を図り、教育委員会の運営の円滑化に努める。
重 点	○教育委員会の円滑な運営 ○安全・安心を確保するための施設等の整備 ○教育委員会事務事業の推進

1. 奨学金給付事業		評 価	A
【事業の概要】 進学の意欲と能力を有しながら、経済的理由により就学が困難な者に対して就学に必要な資金を支給する。奨学基金は、従来の瑞浪市奨学基金（平成 20 年度より「貸与事業」から「給付事業」に変更）と、（故）加知保氏からの寄附金による加知奨学基金。 瑞浪市奨学金は高校生を対象（月額 1 万円）とし、加知奨学基金は大学生を対象（入学一時金 20 万円、月額 3 万円）とする。 現在は、給付事業のみであるが、平成 19 年度以前は貸与事業であったため、貸与額の未返済額の対応については、債権管理マニュアルを基に継続的に実施する。			
【事業の実績】 ＜給付事業＞ 瑞浪市奨学金 新規応募者 14 名の内 9 名を選考、過年度選考者分を含め、合計 20 名に支給した。 加知奨学基金 新規応募者 18 名の内 10 名を選考、過年度選考者分を含め、合計 31 名に支給した。 ＜貸付事業＞ 債権徴収マニュアルに基づき債権管理に努め、一定の成果を挙げた。			
【事業の成果と課題】 給付事業については、チラシ・ポスター・広報・ホームページを活用し、各中学校・東濃管内の高校・大学に周知を図ったことで、近年低下していた応募人員が増加した。 貸付事業については、徴収計画に基づいて継続的な債権管理に努める。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	15, 712, 000	15, 375, 804	97. 9

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

2. 小学校児童用机椅子購入事業		評 価	A
【事業の概要】 児童の机・椅子を新 JIS 規格に更新する。 次年度新入学生分を対象に購入する。 （平成 26 年度は平成 27 年度入学生分を購入 平成 29 年度まで継続して実施）			
【事業の実績】 市内各小学校 7 校の次年度新 1 年生を対象に新 JIS 規格(600W×400D→650W×450D)の机椅子を購入した。			
【事業の成果と課題】 多様な教材に対応できるよう机面の寸法が広くなり、学習環境の向上が図れた。机・椅子の両方ともスムーズに高さ調整を行うことができるため、体格の変化や学習の進め方に応じて柔軟な対応がとれるようになった。 また、児童にとって卒業するまで使用するものとなるため、自分に与えられた備品を永く管理する機会が提供できた。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	5,982,000	5,929,200	99.2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

3. 中学校生徒用机椅子購入事業		評 価	A
【事業の概要】 生徒の机・椅子を新 JIS 規格に更新する。 次年度新入学生分を対象に購入する。 （平成 26 年度は平成 27 年度入学生分を購入。） 平成 24 年度～平成 26 年度 瑞浪中学校 （予定） 平成 27 年度 瑞浪南中学校 全学年 平成 30 年度 瑞浪北中学校 全学年 ※瑞浪南中学校、瑞浪北中学校においては、統合時に一括購入			
【事業の実績】 瑞浪中学校の生徒については、本年度においてすべて新 JIS 規格(600W×400D→650W×450D)に更新完了。			
【事業の成果と課題】 多様な教材に対応できるよう机面の寸法が広くなり、学習環境の向上が図れた。机・椅子の両方ともスムーズに高さ調整を行うことができるため、体格の変化や学習の進め方に応じて柔軟な対応がとれるようになった。 また、生徒にとって卒業するまで使用するものとなるため、自分に与えられた備品を永く管理する機会が提供できた。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	3,148,000	3,121,200	99.2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

4. 瑞浪小学校屋内運動場非構造部材耐震補強工事 調査・設計事業		評 価	A
【事業の概要】 瑞浪小学校屋内運動場耐震補強のため、非構造部材の調査及び取り外しの実施設計を行う。			
【事業の実績】 調査及び実施設計を行った。			
【事業の成果と課題】 児童の安全・安心な学校生活を送るための教育環境の整備を図る工事の実施設計ができた。			
※施設改修事業（小学校） 委託料			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1,856,000	1,598,400	86.2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

5. 瑞浪中学校柔剣道場非構造部材耐震補強工事 調査・設計事業		評 価	A
【事業の概要】 瑞浪中学校柔剣道場耐震補強のため、非構造部材の調査及び取り外しの実施設計を行う。			
【事業の実績】 調査及び実施設計を行った。			
【事業の成果と課題】 生徒の安全・安心な学校生活を送るための教育環境の整備を図る工事の実施設計ができた。			
※施設改修事業（中学校） 委託料			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	3,456,000	3,456,000	100.0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

6. 小学校暖房器具更新事業		評 価	A
【事業の概要】 児童に対し、安全で快適な教育環境を保全するため、6年間で老朽化した機器(FFガスファンヒーター)の更新を行う。(計画配備) 平成 25 年度 土岐小学校 平成 26 年度 稲津小学校 平成 27 年度 明世小学校 平成 28 年度 日吉小学校 平成 29 年度 釜戸小学校 平成 30 年度 瑞浪小学校 ※陶小学校は、校舎移転のため更新の計画はなし。			
【事業の実績】 稲津小学校に 35 台整備した。			
【事業の成果と課題】 児童の安全・安心で快適な学校生活を送るための教育環境の整備を行うことができた。 ※小学校備品購入事業 備品購入費(予算現額：18,050 千円)のうち			
決算の状況	予算額 (円)	決算見込額 (円)	執行率 (%)
	5,600,000	5,196,603	92.8

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

7. 中学校暖房器具更新事業		評 価	A
【事業の概要】 生徒に対し、安全で快適な教育環境を保全するため、老朽化した機器の更新を行う。 （計画配備） 平成 25 年度～26 年度 瑞浪中学校のみ 平成 27 年度 稲津中学校 ※瑞陵・日吉・釜戸中学校は、統合するため更新なし			
【事業の実績】 瑞浪中学校に 35 台整備した。			
【事業の成果と課題】 生徒の安全・安心で快適な学校生活を送るための教育環境の整備を行うことができた。 ※中学校備品購入事業 備品購入費(予算現額：15,207 千円)のうち			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	5,950,000	5,821,200	97.9

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

8. ミスト扇風機購入事業（小学校）		評 価	A
【事業の概要】 夏季の熱中症対策のため、市内各小学校にミスト扇風機を 2 台ずつ整備する。			
【事業の実績】 各学校 2 台ずつ配備した。 指名競争入札により設計額より安価に購入することができた。			
【事業の成果と課題】 熱中症対策として、体育の授業・運動会の練習・部活動の際に活用でき、児童の熱中症の報告を一件も受けることがなかった。 ※小学校備品購入事業 備品購入費(予算現額：18,050 千円)のうち			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	4,900,000	2,918,160	59.6

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

9. ミスト扇風機購入事業（中学校）		評 価	A
【事業の概要】 夏季の熱中症対策のため、市内各中学校（日吉中学校を除く）にミスト扇風機を2台ずつ整備する。			
【事業の実績】 各学校2台ずつ配備した。 指名競争入札により設計額より安価に購入することができた。			
【事業の成果と課題】 熱中症対策として、体育の授業・運動会の練習・部活動の際に活用でき、生徒の熱中症の報告を一件も受けることがなかった。 ※中学校備品購入事業 備品購入費(予算現額：15,207千円)のうち			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	3,500,000	2,084,400	59.6

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

10. 中学校用地整備事業		評 価	A
【事業の概要】 釜戸中学校の駐車場用地(約3,100㎡)の購入、整備。			
【事業の実績】 国道からの進入路を拡張し、駐車場として86台駐車できるスペースを整備した。			
【事業の成果と課題】 国道からの進入路を確保し見通しが良くなったことや駐車場を整備することで、利便性が増し、また、生徒、教職員や来校者の安全が確保できた。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	66,027,000	65,467,107	99.2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

11. 小学校放送設備デジタル化事業		評 価	A
【事業の概要】 小学校の校内放送設備を更新(プログラムチャイムを含む)するとともに、緊急地震速報システムを導入する。普通教室にテレビハンガーを設置する。			
	放送設備デジタル化	緊急地震速報	普通教室テレビハンガー
24	釜戸小学校		
25	稲津小学校 明世小学校	稲津小学校 明世小学校	稲津小学校 釜戸小学校
26	瑞浪小学校 土岐小学校 陶小学校 日吉小学校	瑞浪小学校 土岐小学校 陶小学校 釜戸小学校 日吉小学校	瑞浪小学校 明世小学校 陶小学校 日吉小学校
【事業の実績】 各小学校の校内放送設備が老朽化しているため、デジタル放送に対応したシステムに改修するとともに、緊急地震速報受信機を同システムに組み込むための工事を実施した。 また、普通教室のテレビハンガーの設置が全小学校で完了した。			
【事業の成果と課題】 緊急時の早急な対応が可能となり、児童の安全を確保するとともに、放送システムの利活用が図られるようになった。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	19,200,000	19,125,196	99.7

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

12. 中学校放送設備デジタル化事業		評 価	A
【事業の概要】 中学校の校内放送設備に緊急地震速報システムを導入する。			
	放送設備デジタル化	緊急地震速報	普通教室テレビハンガー
24		瑞浪中学校	
25	瑞浪中学校		瑞浪中学校
26		瑞陵中学校 陶中学校 稲津中学校 釜戸中学校	
【事業の実績】 当初の予定どおり、緊急地震速報システムの設置を完了した。			
【事業の成果と課題】 生徒の安全を確保するための緊急時における早急な対応が可能となった。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1,000,000	973,604	97.4

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

13. 明世小学校校舎大規模改修事業		評 価	A
【事業の概要】 明世小学校校舎（昭和 51 年建築）大規模改修工事の第 2 期工事及び、別棟で多目的室等を増築し会議室不足等、教育環境の改善を図る。			
【事業の実績】 明世小学校校舎の老朽化に伴い生徒の安全・安心な教育環境を確保するために大規模改修を実施した。			
【事業の成果と課題】 児童が安全・安心な学校生活を送ることができるよう教育環境の整備が図れた。 また、多目的教室を増築することにより会議室等の不足が解消した。 ※明世小学校校舎大規模改修事業・・・多目的室増築工事 予算現額：53,460 千円、決算見込額：52,920,000 円 ※明世小学校校舎大規模改修事業(繰越)・・・第 2 期工事 予算現額：57,000 千円、決算見込額：54,049,680 円			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	110,460,000	106,969,680	96.9

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

学校統合推進室

方 針	健全な教育環境を整備する。
重 点	○中学校の統合再編の推進

主な事業の実績と評価

1. 学校統合推進事業		評 価	A
【事業の概要】 統合準備委員会（北部・南部）を開催し、校歌作成など統合にかかる諸課題の協議・決定を行う。 南部地域の中学校用地の買収を行う。（H25 からの繰越事業） ≪開校目標年度≫ 瑞浪南中学校 平成 28 年度 （仮称）瑞浪北中学校 平成 31 年度			
【事業の実績】 ○統合準備委員会及び専門部会を開催し課題の協議を行った。 【北部地域】委員会 2 回 専門部会 3 回 【南部地域】委員会 1 回 専門部会 2 回 ○委員会ニュースを発行し、対象地区への配布とホームページに掲載をした。 ○学校用地を取得した。6,219 千円（H25 からの繰越事業） ※ 繰越額（H27）：校歌作曲業務委託料 150 千円			
【事業の成果と課題】 部会単位での課題検討を適宜進めた。南部は、統合前年度となるため業務内容の再確認を行う。北部は、前倒して協議を進めるべくスケジュールの見直しを行っていく。 委員会での協議・決定内容について、委員会ニュースを発行し対象地区へ配布するとともに市ホームページに掲載し、情報提供に努めた。今後は、各地区の公民館だよりや学校新聞を活用するなど、効果的な方法を検討し実施していく。 H25 に売買契約を締結した用地について、所有権移転等の手続きを完了させた。 ※学校統合推進事業 予算現額：1,744 千円、決算見込額：1,312,731 円 ※学校統合推進事業（繰越）・・・公有財産購入費 予算現額：6,219 千円、決算見込額：6,218,259 円			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	7,963,000	7,530,990	94.6

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

2.（仮称）瑞浪南中学校施設整備事業		評 価	A
【事業の概要】 （仮称）瑞浪南中学校のテニスコート、バスロータリーなどの施設整備にかかる設計業務及び土地造成工事を行う。 ※ 学校統合推進事業（H25）から分かれた継続事業			
【事業の実績】 （仮称）瑞浪南中学校の施設整備にかかる設計業務を実施した。 テニスコート造成工事に着手したが、他の事業との関係で翌年度繰越とした。また、バスロータリー造成工事については、雨水排水処理施設の追加測量を実施するなど設計の再検討をおこなったため工事までには至らなかった。 ※ 繰越額（H27）：テニスコート造成工事 9,390 千円			
【事業の成果と課題】 施設整備にかかる設計業務は完了し、テニスコート造成工事に着手できたが、グラウンドに消防団用照明設置工事が追加されたため工期の調整が必要となり、翌年度への繰越対応とした。また、バスロータリー等の造成工事は、設計を再検討することにより、来年度実施することとなった。 スケジュール的に、大きな影響はないが、開校年度に遅延のないよう学校や関係部署と調整をしながら進めていく必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	25,500,000	16,035,240	62.9

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

3.（仮称）瑞浪北中学校施設整備事業		評 価	A
【事業の概要】 （仮称）瑞浪北中学校用地の買収と、校舎・屋体建築設計及び土地造成実施設計を行う。 ※ 学校統合推進事業（H25）から分かれた継続事業			
【事業の実績】 ○学校用地の大部分を取得した。（22 件中 20 件・45 筆中 36 筆） ○土地造成実施設計業務に着手した。 ○文科省の「スーパーエコスクール実証事業」に採択され、ゼロエネルギー化基本計画書を策定した。 ※ 繰越額（H27）：土地造成実施設計業務委託他 45,240 千円			
【事業の成果と課題】 学校予定地の大部分の用地を取得した。残りの用地も早期取得に向け交渉を進めていく。 用地の取得におおよその目途が立ったため、土地造成実施設計に着手したが、調整池の位置などの再検討に時間を要したため、翌年度に繰越対応とした。 校舎・屋体新築にあたり、文科省の「スーパーエコスクール実証事業」に採択され、今年度においてゼロエネルギー化基本計画書を策定した。来年度、この計画に基づき建築基本設計及び実施設計を発注する。 開校年度に遅延のないよう関係部署と調整をしながら進めていく。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	82,767,000	36,524,457	44.2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

学校教育課

方 針	～たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進～ 子どもたちが自立して生きていくための基礎となる力を育てるために、幼児期における教育の充実を図るとともに、知・徳・体の調和のとれた学校教育を推進する。 幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携強化や中学校統合の円滑かつ効果的な推進を図る。
重 点	○確かな学力の育成 ○幼稚園・学校の職員の資質向上 ○子どもがつながる生徒指導の推進 ○一人一人の特性に応じた支援の充実 ○幼保一体化による就学前教育の充実 ○中学校の統合準備

主な事業の実績と評価

1. A L T活動関係経費		評 価	B
【事業の概要】 外国人英語指導助手（J E Tプログラム1名・業者委託2名）が幼稚園、小・中学校を訪問し、英語教育、英語活動、国際理解教育を進める。			
【事業の実績】 幼稚園、小・中学校への計画的な訪問指導を実施することができた。また、小学校5・6年生には、「小学校外国語活動」の時間すべてに訪問することができた。 （延べ訪問日数 575 日）			
【事業の成果と課題】 幼稚園ではA L Tの派遣により国際理解教育を進めることができた。 小学校5・6年生の「外国語活動」の時間すべてにA L Tが訪問し、より効果的な活動ができた。小学校の低・中学年では、「ゆとりの時間」や「総合的な学習の時間」に計画的に訪問し、国際理解を深めることができた。 中学校にA L Tが入ることにより、より質の高い英語指導が図られた。 カードやゲームを活用して学習するなど、明るい雰囲気 of 英語指導を通して英語や外国人に対する抵抗感が解消できている。また、積極的に英語を使ってコミュニケーションをとろうとする児童生徒の姿が見られる。 A L Tによっては、教師との意思疎通の不十分さや文化の違いが原因で、トラブルになることがあった。そういう場合の対処方法を考える必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	13,912,000	13,454,947	96.8

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

2. 教育研修経費		評 価	B
【事業の概要】 教職員の資質向上のための研修会を実施する。また、幼稚園、小中学校の授業研究会に外部専門講師を招聘する。			
【事業の実績】 ・夏季研修会については、4日間延べ347名が受講した。 (防災、パソコン、特別支援教育、英語活動、幼児教育、作陶体験、瑞浪市歴史探訪、NIE等、合計17講座を実施した。) ・各園各校の校内研究会に外部講師を招聘し、活動や授業の充実に努めた。			
【事業の成果と課題】 研修の実施により教職員の資質向上が図られている。 多方面にわたる教職員の資質向上が求められており、さらに多様な研修の必要性を感じる。 各園各校における研修会では、各園各校の研修課題に応じた研修を充実させることができた。 他市から赴任している教師に対して、作陶や瑞浪市の歴史探訪講座を受講してもらい、瑞浪市のよさを他地域に広めることに貢献した。 予算編成時に学校に対し講師要望調査を行い予算要求しているが、学校では新年度まで実際の研修計画が決定しないため、要望と乖離する例があり課題となっている。今後は前年度に研修希望を調査し、研修計画を立てる必要がある。 【評価委員からの意見とその対応】 ○「教育研修経費」について、教師が日頃の多忙さから解放されるようなリラックスできる研修内容を取り入れてみたらどうか。例えば、体験型の研修はどうか。 ➡複数の研修を選択することが可能です。肩肘張らない内容の研修を講座の中に取り入れていきたいと考えています。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	590,000	450,596	76.4

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

3. 小学校課題指定校経費		評 価	A
【事業の概要】 3年サイクルで研究校を指定し、教育活動を支援する。 指定校は課題を策定・研究し、3年目に研究発表会を実施する。 指定1年目は予算措置なし。			
【事業の実績】 ・10月17日 陶小学校研究発表会 研究主題 「主体的な学習を生み出す言語活動のあり方」 ・8学級公開授業 市内外教員等参加者 約200人 ・学校の研究テーマで、願う児童の姿を具現することができた。新しい手法についての主張があり、参考になった。			
【事業の成果と課題】 陶小学校で研究発表会を実施し、研究に取り組んだ教員が力量を高めた。参観者にとっては、単位時間を見通した言語活動の工夫や、意欲化を図るための評価の工夫が参考になった。 単位時間の読み取り学習で身に付けた力を次時の並行読書で確かめ、それを繰り返す「AB方式」や、一単位時間で一つの教材から学習したことを別の教材で確かめる「入れ子構造」などの新たな手法の提案があり、今後の市内の研究の新たな取り組みにつながった。 今後は、発表校の教員の更なる力量向上とともに、児童の学習意欲の向上に一層つながるように研究を継続していくことが重要である。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	408,000	398,039	97.6

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

4. 中学校課題指定校経費		評 価	A
【事業の概要】 3年サイクルで研究校を指定し、教育活動を支援する。 指定校は課題を策定・研究し、3年目に研究発表会を実施する。 指定1年目は予算措置なし。			
【事業の実績】 ・10月24日 瑞浪中学校研究発表会 研究主題 「教科の力を育てる学習指導」 ・8教科15学級授業公開 市内外教職員等参加者 約200人			
【事業の成果と課題】 瑞浪中学校で研究発表会を実施し、研究に取り組んだ職員が力量を高めた。生き生きと学ぶ生徒の姿があり、参観者にとって大いに参考になる発表となった。特に、各教科の専門性を生かした意欲化を図る手立て、教材・評価の工夫などに魅力的な実践がなされていた。 今後は、発表校の教員の更なる力量向上とともに、生徒の学習意欲の向上に一層つながるように研究を継続していくことが重要である。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	421,000	390,433	92.8

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

5. 教育支援センター運営経費		評 価	A
【事業の概要】 不登校児童生徒の学校復帰を目指して指導員 2 名（嘱託職員）により適応指導を行う。 平成 26 年度は、不登校による 30 日以上欠席した児童生徒が 45 名いた。 平成 27 年度は、適応指導教室室長による学校訪問や保護者面談を実施しながら、適応教室への通級を勧める活動を行う。通級する児童生徒に対しては、指導員が個別指導を行い、対人関係を学んだり学習の遅れを取り戻したりしながら、学校復帰を目指す。			
【事業の実績】 ・適応指導教室通級児童生徒の学校復帰を目指す指導ができた。通級者 7 名中 7 名が学校復帰できた。 ・教育相談活動については、総数 110 件の相談を行った。			
【事業の成果と課題】 適応指導教室に通う児童生徒の学校復帰を目指す指導ができた。運営委員会の開催、通信の発行を定期的に行った上で、各小中学校訪問を通して学校との連携を図り、情報の共有化及び各ケースの実情に応じた支援を行った。 教育相談活動を通して、小中学校の児童生徒及び保護者と強い信頼関係を築くことにより、個々に応じた支援をすることができた。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	8,071,000	7,226,679	89.6

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

6. 児童生徒学業支援員派遣事業		評 価	B
【事業の概要】 小中学校において、学級担任の補助として、支援の必要な児童生徒（発達障がい、学習障がい等のある児童生徒）へ個別支援及び学校図書館整備の支援を行う人員を配置する。			
【事業の実績】 25 名（小学校 7 校：16 名、中学校 3 校：7 名、図書：2 名）を派遣し、児童生徒に寄り添った学習支援や、図書館整備・読書指導等における支援を行った。			
【事業の成果と課題】 支援員の活動が担任の学級経営の助力となっており、ひいてはそれが子どもたちの安定した学習姿勢につながった。しかし、支援の必要な児童生徒は増加しており、支援員の増員が必要になっている。 図書担当の学業支援員については、二人ですべての学校図書館をまわり、環境整備や読書指導等に取り組み、子どもたちにとって魅力ある図書館を作り上げることができた。 これまでの瑞小養護教諭の 2 名配置が児童数の減少により 1 名になった。仕事量はほとんど変わらないため、養護教諭をサポートできる支援員体制も必要になってくる。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	26,000,000	23,796,000	91.6

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

7. キャリア教育推進事業		評 価	A
【事業の概要】 中学 2 年生の職場体験事業を実施する。 その際の賠償保険料の支払、進路学習推進委員会の開催を実施する。			
【事業の実績】 市内中学校 6 校の 2 年生全員（366 名）が延べ 156 事業所で職場体験学習を行った。その結果、望ましい勤労観や職業観の育成を図ることができた。 職場体験学習が円滑に実施できるよう進路学習推進委員会を実施し、関係団体の会長等との懇談を充実させた。本委員会の長年の協力に対し、文部科学省から表彰を受けた。			
【事業の成果と課題】 市内中学 2 年生全員が事故なく職場体験学習を行い、望ましい勤労観や職業観の育成を図ることができた。 進路学習推進委員会については、長年の協力に対し文部科学省から表彰を受けた。地域ぐるみのキャリア教育を推進していくため、引き続き実施していく必要がある。 今後、学校と事業所との打ち合わせを綿密にする必要がある上に、体験だけでなく事前と事後の指導がますます大切になってくる。			
【評価委員からの意見とその対応】 ○「キャリア教育推進事業」について、中学生が事業所に行って何を学んでくるかが大切である。			

➡体験するにあたってモチベーションの低い生徒がいることは確かです。そういう生徒にも学ぶ目的を確実に理解させ、事業所と念入りに打ち合わせることで、できるだけ多くの学びを実現したいと考えています。

決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	169,000	139,766	82.7

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

8. 小学校教科書改訂事業		評 価	A
【事業の概要】 小学校教科書改訂に伴う、教師用教科書・指導書・指導用教材等を購入する。			
【事業の実績】 平成27年度より使用する小学校教科書改訂に伴い、教師用教科書、指導書、教材を購入した。			
【事業の成果と課題】 教科書改訂に伴い、平成27年度4月当初から滞りなく使用できるように、教師用教科書、指導書、教材を手配することができた。前期分は購入できたが、後期分については平成27年度前期中に対応する必要がある。 デジタル教科書については、教科や教材によって効果的に活用されるよう瑞浪市でも導入する方向で検討する。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	9,373,000	9,371,606	100.0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

9. 幼稚園課題指定園経費		評 価	A
【事業の概要】 2年サイクルで研究園を指定し、教育活動を支援する。 指定園は課題を策定・研究し、2年目に研究発表会を実施する。 平成25・26年度は「竜吟幼稚園」を指定した。			
【事業の実績】 ・10月22日に竜吟幼稚園の研究発表会が行われた。 研究主題 「心と体を動かしながら、生き生きと遊ぶ子の育成」 ・市内外教職員等参加者 約150名 ・午前中に公開保育・分科会による研究発表会を開催した。 ・子ども達は笑顔で生き生きと遊びながら力をつけていた。参加者全員に今後の研究の大切さとその道筋を示していた。			
【事業の成果と課題】 園目標の具現を目指して、園長はじめ全職員が主体的、意欲的に研究に取り組み、研究の構想、研究実践、公開保育発表とつなげることができた。 研究内容を運動に絞り込んで取り組み、子どもの実態をさまざまなエピソードや観察等から具体的につかんでいた。子どもをやる気にさせる評価が大変参考になった。また、日常の中の環境を工夫することにより、子ども達により力をつけていた。充実した発表会で、市内外の参加者から高い評価を得ていた。 幼稚園体制の中で、研究発表会の充実とスリム化をさらに検討しながら、課題指定園制度を発展させなければならない。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	151,000	150,746	99.9

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

10. 教育みずなみ発行経費		評 価	A
【事業の概要】 教育研究所機関誌「教育みずなみ」（月刊誌）を発行する。 分析授業の「授業記録」を発行する。			
【事業の実績】 教育研究所機関誌「教育みずなみ」（月刊誌）を発行した。：No.61 - 1 号～12 号 昨年度末のアンケートを見てみると、「参考になった」と回答した教職員は 77%であつた。 分析授業の「授業記録」を発行して、詳細な授業記録を残すことができた。			
【事業の成果と課題】 教育研究所機関誌「教育みずなみ」（月刊誌） ・年度末のアンケートから、教職員の評価は良好であった。 ・年々変わる教育課題に対応できるよう、掲載内容を一部変更し、教員の資質向上の一助とした。本年度は高等学校の校長からも寄稿してもらい、高等学校から見た瑞浪教育を知ることができた。 分析授業の「授業記録」作成 ・研究所主催の分析授業を市内教員に知らせるため、授業記録を発行した。詳細な授業記録をもとに、授業の分析が円滑に進んだ。			
【評価委員からの意見とその対応】 ○「教育みずなみ」はマンネリ化していないか。実践論文などがどのくらい参考になったか等教員たちに尋ねるとよい。 ➡瑞浪教育は、授業を大切にする教育です。教育の実践やその成果の発表や交流を通して、今後も教職員の授業力の向上を図っていきます。その手立ての一つとしての「教育みずなみ」は継続して作成し、瑞浪の教職員の更なるレベルアップに結びつけます。また、時代と共に形式や内容を検討し、よりよいものを目指します。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	750, 000	582, 530	77.7

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

11. 教育研究所運営経費		評 価	A
【事業の概要】 各学校の代表の嘱託所員、学校所員とともに、所員会、分析授業を通して授業研究を行う。 各教職員の研究成果をまとめた論文を審査・表彰し「教育実践論文」に集録する等、教職員の研究活動を奨励・援助し、教育レベルの向上を図る。			
【事業の実績】 ・教育実践論文を募集、審査、表彰し、入賞作品を「教育実践論文集」に集録した。 73 人の応募があった。 ・嘱託所員、学校所員と共に 1 年間をかけて詳細に授業を分析し、冊子「授業記録」にまとめ上げた。			
【事業の成果と課題】 実践論文の応募点数が 73 点あった。応募率は 31.7%に上り、他市の 2 倍から 4 倍の応募率である。教職員の資質向上に大変役立っている。 優秀論文を「教育実践論文集」にまとめ、市内教員に配布することで効果的な教育実践のあり方を広めている。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	616, 000	468, 923	76. 2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

12. 子ども自立支援トータルサポート事業 (就学移行支援モデル事業)		評 価	A
【事業の概要】 県の指定による就学移行支援モデル事業で、平成 26 年度は土岐小学校区の幼児園等(桔梗幼児園・中京幼稚園・啓明保育園)がモデルとなる。障がいのある就学前児童の早期発見・早期支援体制の一層の推進を図ると共に、幼児園等での支援を円滑かつ確実に小学校へ引き継ぐ体制を、私立幼稚園保育園も含めて構築する。			
【事業の実績】 療育関係者会等を通して、関係諸機関との連携で早期発見・早期支援の仕方について検討をした。 土岐小学校区において、円滑な就学移行のあり方について実践を通して検討をした。			
【事業の成果と課題】 複数の関係機関の連携の中で、特別な支援が必要な子どもの早期発見・早期支援体制を構築することができた。成果については、リーフレットを使って市内全地区に広めていく。 幼児園において、CLM(「Check List in Mie」の略。)を活用した個別の支援計画に基づく実践がなされ、それを小学校に引き継ぐ体制ができた。また、幼児園と小学校の交流が深まり、適切な支援のあり方について情報が交換された。しかし、市全体としては、引継ぎは行われても確実につながっているとはいえない場合があるので、よりよいものを今後も追究しなければならない。 就学相談を受けた保護者への対応等、教職員の研修が必要である。			
決算の状況	予算額(円)	決算見込額(円)	執行率(%)
	240,000	238,678	99.5

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

学校給食センター

方 針	身体の発育期にある児童・生徒に、安全でバランスのとれた栄養のある給食を提供し、心身の健全な発達に資するように努める。
重 点	○安全な給食及び衛生管理の徹底 ○学校給食の安定供給の実施 ○施設・設備の整備 ○安心して美味しい給食の提供 ○食に関する指導の充実

主な事業の実績と評価

1. 洗濯業務等作業委託事業		評 価	A
【事業の概要】 調理員等の日々の作業服（調理衣等）の洗濯及び乾燥後の整理業務等を、（公社）シルバー人材センターに委託する。			
【事業の実績】 契約期間：平成 26 年 4 月 7 日～平成 27 年 3 月 25 日（206 日） 月曜日 10 時 30 分～15 時 30 分 火曜日～木曜日 11 時～15 時 金曜日 10 時～17 時			
【事業の成果と課題】 洗濯作業等を委託したことにより、調理員が汚れた調理衣等に触れることなく、調理業務に専念することができた。 ※学校給食センター施設管理経費 委託料(予算現額：8,024 千円)のうち			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	640,000	639,993	100.0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

2. 機器等オーバーホール工事（分解修理及び点検整備）		評 価	A
【事業の概要】 平成 14 年 4 月から操業している給食センターは 10 年以上が経過し、ボイラーの蒸気漏れや排水ポンプの故障などが日常的に発生し、その都度修繕をしてきた。 しかし、厨房機器については、不具合が生じると給食の提供に支障をきたすため、平成 24 年度から 3 か年計画でオーバーホール工事を実施する。			
【事業の実績】 機器等の延命及び性能維持を図るため、部品を新品に交換する等の修理及び点検整備を実施した。 ①自動食器浸漬機 ②食器供給装置 ③システム食器洗浄機 ④食器整理装置 ⑤コンテナ洗浄機			
【事業の成果と課題】 予定していた厨房機器のオーバーホール工事は、給食を提供しない夏休み期間内に完了することができた。 ※学校給食施設等整備事業 工事請負費(予算現額：63,426 千円)のうち			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	45,826,000	45,792,000	100.0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

3. 学校給食配送委託事業		評 価	A
【事業の概要】 学校給食を市内の小中学校に限られた時間内に配送するため、配送業務を専門業者に委託する。 車両経費（5年間）・運行費・人件費・一般管理費・運送雑費等			
【事業の実績】 市内の小中学校へ給食の配送を実施した。 契約期間：平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日 配送施設数：小学校（7）、中学校（6） 配送車両：4 台			
【事業の成果と課題】 市内の小・中学校への学校給食の配送は、仕様書に沿った方法により委託業者への指導を徹底した結果、安全・確実に実施することができた。 また、配送業務以外の空いた時間を利用して駐車場周りの清掃を行うよう契約しているため、場内の環境整備の向上につながっている。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	17,063,000	16,983,000	99.6

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

社会教育課

方 針	ともに学び、成長し、高めあえる社会教育を推進する。 郷土愛を育む文化・芸術の振興を図る。 子どもの成長支援のために幼児園・学校、家庭、地域の連携を強化する。
重 点	○多様な世代に対応した生涯学習の内容の充実 ○地域での子育てに係る学習環境の整備 ○高齢者の活躍の場づくり ○公民館・図書館等による人材発掘と育成 ○市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実 ○後継者育成、文化芸術活動団体の支援 ○連携による家庭の教育力の向上 ○連携による地域の教育力の向上

主な事業の実績と評価

1. 瑞浪市主張大会開催事業		評 価	B
【事業の概要】 岐阜県少年の主張大会瑞浪市予選会を兼ねて、また、青少年育成事業のみでなく市民の生涯学習啓発事業としても開催する。 市内の各小・中・高等学校の代表（各校 1 名）、及び一般応募者が、開催要項に定められた課題に沿って発表し、審査により賞を授ける。			
【事業の実績】 ・ 6 月 29 日（日）に総合文化センター文化ホールにおいて開催した。市青少年育成推進員、青少年育成市民会議地域活動部会員及び各高等学校の生徒が協力して事業の運営主体となって開催し、約 500 人の入場者があった。 ・ 発表された主張については、青少年育成市民会議事業として記録冊子を作成して配布した。			
【事業の成果と課題】 平成 22 年度から青少年育成市民会議の協力事業という位置付けで開催しており、平成 26 年度においても市青少年育成推進員及び市民会議地域活動部会員と協力して開催できたことは成果である。とりわけ高校生が司会進行を担当して明快かつスムーズな進行が行われ、また、瑞浪高等学校書道部が作成した手書きの主張大会の横断幕を掲げることができたことで、内容ある青少年育成事業として好評を得ることができた。 今年度は市制 60 周年ということで、青少年育成市民会議から形に残るもので協力をしたいという依頼があり、記念品等について準備をしていただいたことで経費削減となり、事業の予算総額が少額であることも相まって執行率が大きく低下した。 課題としては、学校代表による発表であり、発表者の家族・友人等の応援による来場が中心であって、地域の方々や一般市民の来場が少ないことがある。発表者が地域の代表でもあるという意識を持ってもらえる方策、各地域からの応援といった形で来場してもらえるような工夫を考えたい。 また、青少年育成市民会議の事業として開催できるように体制づくりを進める必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	240,000	69,895	29.2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

2. 生涯学習推進事業		評 価	B
【事業の概要】 生涯学習推進委員会及び同市民部会の活動において、市・地域の課題を探り、施策の調査・研究・検討などを行う。また、人材発掘・指導者育成を目的とした「生涯楽習講座」を市民部会員が主体となり開催する。また、市民への生涯学習啓発を目的に、生涯学習推進委員会市民部会が主体となって生涯学習講演会を開催する。			
【事業の実績】 ・生涯学習推進委員会を2回、市民部会を4回、行政部会を2回開催し、市民部会については、学習の質の向上を図るための検討を行い、生涯学習推進委員会への「提言」「提案」「評価」を行う準備をした。行政部会については、生涯学習推進計画推進に向けての検討や、庁内各課が実施する啓発的な学習（出前講座）の実施に向けて取り組んだ。 ・市民部会が主体となり、8月17日（日）に「私の役者人生」をテーマに、俳優の笹野高史氏を講師に招いて生涯学習講演会を開催した。（来場者606人、内寿大学237人） ・県と共催で、短期型人材養成事業「学びによる地域づくり活動デビュー講座」を実施。（19人参加） ・各公民館及び県・民間等に記事を依頼し、「生涯楽習ガイドブック」を作成した。平成27年度に全戸配布。 ・生涯学習シリーズ講座として「豊かな老いを考える」をテーマに3講座を開催した。			
【事業の成果と課題】 ・生涯学習推進委員会の要綱の制定ができ、市民部会・行政部会の活動の方向性を明らかにすることができた。 ・生涯学習講演会については、整理券の配布により当日欠席が多数あり、配布の仕方等に課題が残った。平成27年度の開催については、市民部会が主体となり、講演内容に係る学習機会を提供しながら開催する。 ・行政部会の開催により、全庁的に行う出前講座を実施する準備が整った。また、新たに「生涯楽習ガイドブック」の作成に取り組み、市民の皆さんへまとまった情報を提供できるようになった。			
【評価委員からの意見とその対応】 ○生涯楽習ガイドブックは毎年発行するのか。また、どれだけの利用があったか ➡毎年発行していきます。利用については、今年度からの発行となるので現状はまだ不明ですが、広報みずなみでの催事案内だけではなく講座の実施内容をお知らせすることで、広く興味を持っていただくためのものです。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1,773,000	1,450,364	81.8

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

3. 青少年育成推進事業		評 価	B
【事業の概要】 青少年育成市民会議の活動、及び市委嘱の推進員を中心に青少年健全育成活動を行う経費。推進員の報酬、市民会議への交付金（モデル地区・団体への活動交付金を含む）等が主要経費。			
【事業の実績】 ・青少年育成推進委員会（構成 10 名）を年 7 回開催した。 ・平成 26 年度は「ケータイ・インターネット問題」をテーマに、青少年育成市民会議を年 3 回開催した。高校生との意見交換会を設け、高校生の現状を把握するとともに、PTA と連携しケータイ・インターネット問題に対して、瑞浪市としての指針策定に取り組み、モデル地区（大湫地区）とモデル団体 2 団体の活動発表、及び優良青少年団体等の顕彰を実施した。 ・市民会議の 4 部会の活動として、市主張大会の運営協力や夏季特別街頭巡回指導、環境整備活動、また、講演会開催等の事業を実施した。			
【事業の成果と課題】 ・青少年育成市民会議の事業については、PTA と連携し、ケータイ・インターネット問題の指針策定への取り組みを大きな柱とした。また、4 つの部会（家庭教育、地域活動、環境改善、広報）が、特色のある取り組みを行った。学校を通し広く PTA にも呼びかけた家庭教育の講演会、高校生による司会進行などアイデアを生かした主張大会の運営、町民会議・高校生と連携し地下道の落書き消しなどの環境整備、市内全戸配布した広報「笑顔あふれるみずなみ」の年 2 回発行など、充実した活動を行うことができた。また、「高校生と語る会」では、市内 3 高校から 27 名の高校生を招き、ケータイ・インターネット問題について活発な意見交換を行なうことができ、青少年育成事業として着実な取り組みができた。 ・青少年育成市民会議事業の課題としては、充て職の部会員が多く継続性を確保しにくいこと、また、中心となって活動いただいている市青少年育成推進員にあつては活動回数が多く負担も大きい点がある。事業内容の見直しや充て職の推薦依頼先等の検討など、継続して活動できる体制づくりを進める必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	2, 259, 000	2, 236, 774	99. 1

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

4. 成人式開催経費		評 価	A
【事業の概要】 瑞浪市の成人式として、市制当初からの「成人の火の伝達」等の伝統儀式を継承しながら、成人の自覚と将来への激励を目的とした、新成人式実行委員と市民・地域サポーターによる手づくりの成人式を開催する。			
【事業の実績】 市内全中学校の卒業生で新成人対象者で構成する成人式実行委員会を 9 月から 18 回開催し、実行委員が自ら企画・運営・進行する手作りの成人式を開催した。平成 26 年度のテーマ「7305 ～Let It Go ありのままで～」に沿って、厳粛な式典部分は大事に継承しつつ、地域の思い出の場所を巡った映像等から 20 歳までの 7,305 日を振り返り、家族や地域の方への感謝の手紙を読むという構成に、実行委員がやって良かった、新成人が来て良かった、来賓や保護者に瑞浪市の若者は素晴らしいと感じてもらうことができ、意義のある式典となった。 * 成人対象者：485 名、内出席者 412 名、出席率：85.0% * 新成人研究会による第 14 回成人式大賞 2014 で準大賞を受賞 * 同会による第 15 回成人式大賞 2015 では、成人式大賞を受賞（ 全国 1 位 ）			
【事業の成果と課題】 毎年、新成人実行委員の企画・運営による、郷土としての地域や瑞浪市との関わりを視野に入れた手づくりの成人式を開催し、市内外からも高い評価を得ている。成人式大賞では 10 年連続して準大賞、優秀賞等を受賞し、本年は全国 1 位という成人式大賞を受賞した。式の記念品も本年は郷土の良さを再発見してもらえるよう「みずなみ焼」とし、新成人が思い描いていた陶器のイメージとは異なるお洒落なデザインで好評だった。 今後とも、新成人とふるさと瑞浪市との関わり、育った地域との関わりを視野に入れ、新しい企画も取り入れ開催して行く。人口減少に伴い、成人式実行委員の選出が困難になっていることから、前年度の実行委員から次年度の実行委員を推薦してもらえるような体制作りも検討していく必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1,908,000	1,764,638	92.5

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

5. 中央公民館講座等開催経費	評 価	B
【事業の概要】 市民のライフスタイルや生活技術の向上、多様な学習意欲の向上に適した講座・教室等を開催する。また、高齢者学級としての寿大学の運営や、家庭教育の充実を目的とする母親学級等を開催する。		
【事業の実績】 ○定期講座・体験教室等で次の 12 事業を実施した。(講座参加人数 194 人) ・楽しく気楽にギターレッスン 4～8 月 (全 8 回) 9 人 ・カメラ講座 6 月 (全 5 回) 21 人 ・はじめてのフラ 6～7 月 (全 8 回) 16 人 ・寄せ植え教室 6 月 28 日 13 人 ・籐工芸教室 7 月 26 日 5 人 ・子どもミュージカル (児童合唱団共催) 7～10 月 (全 10 回) 25 人 ・ベビーマッサージ教室 8～9 月 (全 4 回) 10 人 ・美文字教室 9～2 月 (全 10 回) 20 人 ・剪定教室 9 月 28 日 12 人 ・すっきりピラティス 10～12 月 (全 10 回) 13 人 ・オカリナ教室 11～1 月 (全 5 回) 11 人 ・お正月寄せ植え教室 12 月 20 日 10 人 ○高齢者学級として中部寿大学 (学生 186 人) の運営 毎月学習会等開催、文集発行 ○登録自主グループ 31 団体、延べ会員数 311 人 ○自主ぐる～ぷ展 3 月 13 日～15 日。6 団体 ○ひまわり婦人学級 参加者数 23 人 ○常盤婦人学級 参加者数 30 人 ○家庭教育学級 (三園母親学級) 参加者数 23 人 ○家庭教育支援事業 市民図書館及び関心のある有志等にご協力いただいて映画「じんじん」を上映した (入場者 450 人)。また、一連の事業として子どもの読書と家庭づくりをテーマに講演会を 2 回開催した (受講者延べ 40 人)。		

【事業の成果と課題】

- ・気軽に申込できる短期講座を多く企画し、多様な世代・市民層の参加増大をいくらか図ることができた。また、講座で学んだことを展示・発表する場を設けることで達成感を感じてもらい、学習継続の意欲に繋げることができた。
- ・生活技術の向上等市民のニーズの高い講座の指導者の確保が困難であるが、若い世代などの関心の高い講座・教室を積極的に企画していく必要がある。

【評価委員からの意見とその対応】

○中央公民館の講座について 12 事業を実施したということだが、平成 26 年度に新規で実施したものと継続したものはどの事業か。

➡「ベビーマッサージ教室」と「オカリナ教室」は新規事業であるが人気が高く、それぞれ自主事業として発展しています。その他、「カメラ講座」、「はじめてのフラ」、「子どもミュージカル」が新規事業です。継続したものは「楽しく気楽にギターレッスン」、「寄せ植え教室」、「籐工芸教室」、「剪定教室」、「すっきりピラティス」です。

○定員に対しての受講者は増えているか。

➡「寄せ植え教室」や「ベビーマッサージ教室」は人気であり参加者数が増加しています。問題は男性の参加者が少ないことであり、忙しく時間が取れない方が多いということと、仲間と一緒にやるということが苦手な方が多いからであると考えられます。

○他市では募集人数が少なく開催取り止めとなった講座が多いと聞いたが、当市ではどうか。

➡講座を計画した場合は、職員が積極的に参加の働きかけをしてでも確実に講座を開催することとしています。他市のようなオープン講座は計画していません。

決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	917,000	697,980	76.2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

6. 中央公民館文化祭開催経費		評 価	B
【事業の概要】 公民館講座等の参加者や登録自主グループの生涯学習成果を発表する機会を提供し、また、市内の文化芸術団体の活性化を図るため、第33回中央公民館文化祭を市文化協会及びまちづくり組織等の協力により市民文化祭としても開催する。			
【事業の実績】 ・11月15日（土）、16日（日）に瑞浪・土岐・明世地区の活動委員の協力を得て開催した。 ・参加は、芸能発表関係29団体、作品展示関係16団体。文化協会からも市民音楽祭の一部としてご協力いただいた。ほかに、土岐地区まちづくり組織からの有志による行事などを実施。テントイベントは瑞浪・土岐・明世地区の活動委員が担当した。また、中京学院大学中京短期大学部健康栄養学科の学生による減塩料理の試食とゼミ研究に関する掲示物の展示、瑞浪高等学校生活福祉科の生徒の作品展示を実施し、地域の学校との連携を図った。 ・この文化祭行事を利用して、多文化交流・多文化共生を目的として、外国籍の児童を対象とした餅つき体験、茶道連盟の茶席体験、美濃源氏大太鼓の和太鼓体験を実施し、日本の伝統文化に触れあう機会を設けた。 ・全体参加者数631人、入場者数1,600人。			
【事業の成果と課題】 ・従来から課題であった来場者数について、参加者等の滞留について工夫し、芸能発表団体の場を文化ホールだけでなく展示室にも設けたことや、まちづくり組織の有志でイベントを開催してもらったことで、賑やかで活気のある文化祭とすることができた。 ・舞台補助員について2名分を予算化していたが、今年度は1名で実施できたことにより予算執行残金が生じ、執行率が低下した。 ・関係地区の区長会やまちづくり組織との連携を強めて、地域への周知を図り集客に努める。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	409,000	231,245	56.6

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

7. 美術展開催経費（市制60周年記念）		評 価	B
【事業の概要】 第 61 回瑞浪市美術展（一般の部、公募展）を開催する。 日本画・洋画・書・彫塑・デザイン・陶芸・工芸・写真の 8 部門で開催する。			
【事業の実績】 ・ 第 61 回瑞浪市美術展（一般の部）を、10 月 30 日（木）～11 月 3 日（月、祝）の 5 日間で開催した。また、期間中、特別展示として、これまでの市美術展の開催に長年尽力された物故者の作品展示も行った。 ・ 出品数 228 点（うち賛助・無鑑査等 41 点）、入賞 57 点、展示作品数 213 点。市制 60 周年記念賞を各部門に設けた。入場者数 1,368 人。			
【事業の成果と課題】 ・ 出品数は 228 点で前年度比 25.5%の減少となったが、入場者は 1,368 人と 22.9%の増加となり、ポスターの掲出、チラシの配布だけでなく、口コミによる宣伝が入場者の増加に結び付いた。出品数の減少は、他市の美術展も同様であり、創作活動者の絶対的人口の減少が主な原因の一つと思われる。 ・ 平成 27 年度は出品数の増大を図るため、市内高校の美術部、書道部等へ直接訪問して出品を依頼するなどの方策を計画している。			
【評価委員からの意見とその対応】 ○市美術展の参加が少なくなっているが、入賞者の作品を市役所などで展示して、市民の意識を高めてもらう工夫をしてはどうか。 ➡市美術展運営委員会においての検討課題とし、意識高揚を図る工夫に努めます。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	2, 202, 000	1, 880, 544	85. 4

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

8. 文化芸術振興経費		評 価	B
【事業の概要】 市民の文化芸術活動の振興並びに文化芸術団体の育成支援事業。 瑞浪市文化協会が主催する「市民音楽祭」等の芸術文化振興事業に対し補助金を交付する。 また、公立文化施設連絡協議会の開催する研修等に参加する。			
（事業の実績） ・瑞浪市文化協会の各種事業及び理事会等の会議の開催にかかる事務を遂行した。 ・瑞浪市文化協会による、文化協会祭開催事業（6月14日、15日）、姉妹都市の高浜市との文化交流振興事業、会員の永年の功績を称える顕彰事業の3事業に対し補助金を交付した。 ・岐阜県公立文化施設連絡協議会等が主催する研修機会に職員が参加し、研修や情報交換を行った。 （文化協会加盟：38団体、619人）			
【事業の成果と課題】 ・市文化協会は、会員数や加盟団体が減少傾向にあるため、新規団体の加入の働きかけに取り組む中で、平成26年度は1団体の加盟があった。 ・文化協会補助金の申請額が例年より低かったことや、全国公立文化施設協議会参加費を文化協会が負担したことにより予算執行残金が生じ、執行率が低下した。 ・6月の文化協会祭は盛況ではあったが、一般の入場者は410人と例年並みで、参加団体関係者以外の多くの一般市民にも来場してもらうことのできる方策として、市内にポスターを掲示し、またチラシを配布するなど、積極的に周知を図っていく。 ・本年度は市制60周年記念事業として市文化協会の主催による市民音楽祭事業が開催され、その中心催事である「フォレストコンサート」の開催は満席となる大盛況に終わり、市文化協会による文化芸術振興については大きな進展となった。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	672,000	382,241	56.9

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

9. 中央公民館自主事業（市制60周年記念）		評 価	B
【事業の概要】 自主公演事業を実施し、市民に優れた舞台芸術に触れる機会を提供する。 平成26年度は、市制60周年記念事業として7月に「松竹大歌舞伎」、8月に「第3回ミズナミ・ミュージック・ソサエティー（MMS）」を開催する。			
【事業の実績】 ・松竹大歌舞伎（2回公演） 766人 ・わらび座「ミュージカル『ブッダ』」 419人 ・宝くじまちの音楽会「南こうせつ with ウー・ファン心のうたコンサート」 733人 ・映画「四十九日のレシピ」（2回上映） 1,258人 ・ホワイエふれあいコンサート 5回 674人 ・地歌舞伎衣裳展 615人 ・第3回MMS（ミズナミ・ミュージック・ソサエティー2014） 317人			
【事業の成果と課題】 ・市民が鑑賞を希望する公演事業は多種多様であることから、幅広いジャンルの舞台公演を開催することに努めた。 ・芸術についての理解を深めてもらうため、「松竹大歌舞伎」公演に合わせて「地歌舞伎衣裳展」として衣裳の展示と歌舞伎セミナー（ワークショップ）を開催した。これにより郷土の伝統文化への関心も高めることができた。 ・以前から課題であった集客は、地元で撮影した映画の上映や、宝くじ事業による安価な入場料のコンサートができたため、本年については概ね良好な結果となった。 ・ホワイエふれあいコンサートは、観客との距離が近く、暖かく雰囲気の良いコンサートとなることから毎回好評を得ることができた。 ・MMSについては、市民の手づくりコンサートであるが、市民がより自主的な運営を行えるよう活動を補助していく。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	19,742,000	16,837,194	85.3

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

10. 中央公民館市民参加型事業 (市制60周年記念)		評 価	A
【事業の概要】 市民が自ら参加し、芸術創造の場に触れることのできる事業を企画し開催する。平成26年度のニューイヤーコンサートは、オリジナル作品を創作し、合唱とミュージカルの2部構成で平成27年1月に開催する。ホワイエコンサートは、市民あるいは出身者等で瑞浪市と所縁のある音楽家等を広く紹介し、その音楽活動を激励するもので、なるべく毎月開催する。			
【事業の実績】 ・市制60周年記念事業として、1月24日(土)、25日(日)に『みずなみニューイヤーコンサート2015 創作ミュージカル「櫻堂ものがたり」』と題して、初めて2日公演で開催した。 ・参加者は、公募ソリスト6人、公募合唱団50人、公募劇団員17人、交響楽団51人(エキストラを含む)の他、指揮者・演出家・指導者など。また、衣裳ボランティア15人、スタッフボランティア6人の協力もあった。 (入場券は1,467枚を販売。来場者は2日合わせて1,365人)			
【事業の成果と課題】 ・今年度は、市制60周年記念事業でもあり、これまで以上の「ニューイヤーコンサート」にしたいという企画指導者の思いもあって、地元につながる逸話から物語を創作し、創作ミュージカルを開催した。 ・初めての2日間公演であったが、入場券の販売率は93.32%、集客率は86.83%と多くの方々に来場いただくことができた。公演後のアンケートについても、24日分が287枚、25日分が302枚の回答があり、内容も賞賛の声や次年度への期待、再演がほとんどで、40%を超えるアンケート回答率の高さが素晴らしいコンサートとなったことを表している。 ・参加した合唱・ソリスト・演劇・演奏・演出・運営スタッフ等の方々が力を結集させて創り上げた舞台芸術ということができ、その完成度の高さや市民の鑑賞の満足度などからも従来と比較して大きな実績となった。			
決算の状況	予算額(円)	決算見込額(円)	執行率(%)
	6,846,000	6,670,469	97.5

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

スポーツ文化課

方 針	＜文化振興＞ ○郷土愛を育む文化・芸術の振興を図る。 ＜スポーツ振興＞ ○誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツを推進する。
重 点	＜文化振興＞ ○まちぐるみで守る文化財とその活用 ○市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実 ○文化施設の充実 ○伝統文化後継者育成の支援 ＜スポーツ振興＞ ○スポーツの場の充実 ○スポーツの機会の充実と魅力の発信 ○スポーツ推進委員の活用 ○体育協会・スポーツ少年団・クラブとの連携

主な事業の実績と評価

1. 文化財調査保存事業		評 価	A
【事業の概要】 市内に残る貴重な文化財の保護・啓発等のため調査を実施する。 櫻堂薬師及び関連寺社等の文化財調査と大湫のまちなみ保存に向けて住宅調査を実施する。 また、無形民俗文化財保存団体の後継者育成事業に補助金を交付する。			
【事業の実績】 櫻堂薬師関連寺社等の文化財調査（1件）、また県史・市史等の史料調査（桜堂に関わる記載の有無・内容等の調査）を実施した。 大湫のまちなみ保存のため、大湫のまちなみ保存ワークショップ報告書を策定した。 無形民俗文化財保存団体（3団体）の後継者育成事業に補助金を交付した（美濃歌舞伎保存会、半原操り人形浄瑠璃保存会、鶴城笹踊り育成会）。			
【事業の成果と課題】 大湫のまちなみ保存についてはワークショップを開催して住民の意見等を把握し、その結果を取りまとめた報告書を作成した。今後は関係課への情報提供・連携に努めて、具体的な事業計画策定を促したい。 なお、本事業は文化財調査を主たる目的としているため、無形の民俗文化財後継者育成事業補助金と指定文化財修復・保存等の補助金は、平成27年度以降文化財保護経費に含めることとした。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	2,650,000	2,329,644	88.0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

2. 埋蔵文化財発掘等調査事業		評 価	A
【事業の概要】 遺跡範囲内での開発行為に伴う試掘・確認調査等を実施する。 桜堂遺跡の測量・発掘調査と、小里城出土品金属製遺物の保存処理等を実施する。			
【事業の実績】 試掘・確認調査等を2件（益見遺跡・土岐天徳遺跡）実施した。 桜堂遺跡発掘調査（第3次）を実施した。 小里城出土金属製遺物の保存処理15件を実施した。			
【事業の成果と課題】 桜堂遺跡の発掘調査については桜堂薬師調査指導委員会、文化庁調査官の指導を得て実施したが、新たな調査課題等も見つかったため、今後それらの対応について文化庁・関係課と協議して、出土品の整理、調査報告書の作成等を実施する。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	7,000,000	5,745,189	82.1

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

3. 保存資料等刊行事業		評 価	A
【事業の概要】 市内各所に保存されている瑞浪の近代史を物語る役場記録等を収集し保存・整理を行う。 資料保存のため、瑞浪市史「近代編」資料集第5巻を発行する。			
【事業の実績】 瑞浪市史「近代編」資料集第5巻「日吉村（明治・大正）予算書・事務報告書」（50部）を発行した。			
【事業の成果と課題】 瑞浪市史「近代編」資料集第5巻「日吉村（明治・大正）予算書・事務報告書」を発行し、市史資料として市内コミュニティ等に配布した。 市内コミュニティ等で保管されている瑞浪市制施行までの役場記録等の逸脱を防ぐ必要がある。そのため、平成27年度は、文書類の収集・保存・整理に努める計画である。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1,500,000	1,251,600	83.5

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

4. 歴史案内ボランティア養成事業		評 価	D
【事業の概要】 市内の史跡・文化財等の案内・解説等を行うボランティアの養成・活用を目的とする。 みずなみかたりべの会と共同で市内各地の史跡探訪案内を発行する。			
【事業の実績】 2月18日（水）にみずなみかたりべの会公開講座「小牧長久手合戦美濃山田城の戦い」を、文化センターで開催し、現地研修を行った（参加者38名）。			
【事業の成果と課題】 本事業は歴史案内人ボランティア養成を目的としたものであるため、従来実施していた歴史散策マップの作成は目的に合致しないと判断し、事業実施を見送った。 本事業から発展した「みずなみかたりべの会」に関しては、自主活動を促進するとともに、市の主催事業（講演会・見学会等）に対し協力を求める等の連携を保つ。 今後は、文化財や歴史に関する講演会や見学会等を実施し、歴史案内ボランティアに対する関心を高め、ボランティアの育成に努めていく。			
【評価委員からの意見とその対応】 ○歴史案内ボランティア養成事業の統合とその後の事業展開についてはどのようなか。 ➡本事業は歴史案内人ボランティア養成を目的としたものであるため、「みずなみかたりべの会」と共同事業として実施していた歴史探訪マップの作成は本来の目的と異なります。今後は文化財保護経費と本事業を統合し、市の主催事業（講演会や見学会）に対して「みずなみかたりべの会」の協力を求める等の連携を保ちながら、文化財に対する啓発活動を実施していきます。今後は、文化財や歴史に関する講演会や史跡見学会等を実施し、歴史案内ボランティアに対する関心を高め、ボランティアの育成につなげていきたいと考えています。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	178,000	5,000	2.8

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

5. 中山道維持管理事業		評 価	B
【事業の概要】 中山道内、史跡指定個所の良好な景観維持のために草刈等の維持管理業務を実施する。			
【事業の実績】 中山道（琵琶峠、鴨之巣一里塚、奥之田一里塚、権現山一里塚：岐阜県史跡）の清掃、草刈り、立木伐採業務を実施した。			
【事業の成果と課題】 冬季に、中山道内、史跡指定個所の保護と良好な景観維持のために清掃、草刈り、立木伐採業務等を実施した。 今後は、東海自然歩道の維持管理業務を実施している商工課と連携をとりながら経常的に年２回程度草刈り等を実施し、良好な景観維持に努める。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1,230,000	950,400	77.3

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第２位を切り上げた数値を記載

6. 飛騨・美濃歌舞伎大会開催事業 （市制60周年記念）		評 価	A
【事業の概要】 岐阜県に残る伝統芸能「地歌舞伎」の公開・啓発のため、10月5日に相生座で飛騨・美濃歌舞伎大会を開催する。 当該事業は、県内の27地歌舞伎保存団体が所属する12市町村で持ち回り開催されているため、概ね7年に一度開催することとなる。			
【事業の実績】 10月5日、相生座にて飛騨・美濃歌舞伎大会を開催した。			
【事業の成果と課題】 岐阜県に残る伝統芸能「地歌舞伎」の公開・啓発のため、大会では4つの上演を行い、700名の参観者があり盛況に終わった。 毎年、県内で1回開催される大会であり、本大会は、例年に比べ開催時間が短く、スムーズなものであったとの評価を得ているが、その他、参観者アンケートから得られた意見を参考とし、今後の大会の実施・運営を検討していく必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1,445,000	1,444,097	100.0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第２位を切り上げた数値を記載

7. 化石博物館定期研究報告発行业		評 価	A
【事業の概要】 化石を中心とした研究論文を掲載した研究報告を発行し、関連分野の研究に役立てる。 国内外の関連研究機関（国内 194、外国 105 機関）との図書交換を行い、図書資料の充実を図る。 研究報告第 41 号（350 部）を発行する。			
【事業の実績】 研究報告第 41 号（350 部）を発行し、国内外の関係機関（国内 194、外国 105 機関）に交換雑誌として配布した。			
【事業の成果と課題】 研究成果を広く公開するため、市ホームページを通じ掲載論文の電子版を無料公開している。そのため、利用者は論文を自由に入手可能であり、古生物学分野の学術情報発信に寄与しており、今後も継続していく。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1, 102, 000	917, 965	83. 3

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

8. 化石博物館定期講座開催経費		評 価	A
【事業の概要】 化石をテーマとした講座等を開催し、身の回りの自然や自然科学の面白さを伝える。 化石マイスター養成講座(定員 30 人／2 日間)、化石になった宝石を手に入れよう！(30 人／2 日間)、恐竜の復元模型を作ろう！(延べ 50 人)、小さな化石モンスターを探せ(20 人) ボランティア主導の化石教室を延べ 20 日開催する。			
【事業の実績】 ○化石マイスター養成講座(55 人／2 日間) ○化石になった宝石を手に入れよう！(70 人／2 日間) ○恐竜の復元模型を作ろう！(54 人) ○小さな化石モンスターを探せ(19 人)(新規) ○化石教室：延べ 20 日開催 半日コース(化石採集)(870 人／12 日間) 一日コース(化石採集とレプリカ作り)(187 人／8 日間)			
【事業の成果と課題】 本年度は、昨年度に比べ 1 種講座を加え実施し、全体として 1,255 人の参加者(但し、前年度より 194 人減)を迎え盛況の内に各講座を開催することができた。今後も、利用者ニーズに合わせた開講時期・内容を検討し実施していきたい。 化石教室の参加者が増加傾向にあり、1 回あたり 100 人を越える開催日があったため、参加者の安全性の確保や平等なサービスの提供ができたか、という課題がある。平成 27 年度は、定員を設けた事前申込として化石教室を実施する。			
決算の状況	予算額(円)	決算見込額(円)	執行率(%)
	449,000	376,814	84.0

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

9. 化石博物館定期展示会開催事業		評 価	A
【事業の概要】 化石をテーマとした展示会を開催し、身の回りの自然や自然科学の面白さを伝える。 第 78 回特別展「サメ&エイー化石から見る板鰐類の進化―」を 7 月 23 日から 11 月 30 日に開催する。			
【事業の実績】 第 78 回特別展「サメ&エイー化石から見る板鰐類の進化―」 期 間 7 月 23 日～11 月 30 日（開催日数 113 日） 入館者 13,682 人（1 日当たりの平均入館者数 121 人）			
【事業の成果と課題】 サメとエイの化石をテーマとし、当館収蔵標本のほか、群馬県立自然史博物館などから展示標本を借用した結果、入館者にとって分かりやすい展示となった。 平成 27 年度の特別展でも、当館収蔵資料にこだわらず、必要であれば他の博物館等から標本を借用することで、分かりやすく充実した展示となるように努めたい。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	818,000	682,128	83.4

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

10. 化石資料調査収集事業		評 価	A
【事業の概要】 日本各地の化石資料等を収集し、展示・研究に活用する。 北海道沼田町、富山県八尾町、群馬県富岡市の中生代～新生代カニ・貝化石の調査を行う。			
【事業の実績】 群馬県富岡市（5月18日～5月19日）：中新世の貝類・十脚類・サメ類化石の調査・収集 岡山県津山市・兵庫県洲本市（11月8日～11月9日）：白亜紀・中新世の貝類・十脚類化石の調査・収集 鹿児島県種子島（2月25日～2月28日）：中新世・更新世の貝類・十脚類化石の調査・収集			
【事業の成果と課題】 津山市・種子島の調査で、オキナワアナジャコの化石が採集された。館収蔵標本を含めて検討した結果、従来の見解を覆し、2つの新種として報告する必要があることが分かったので、今後研究を進めていく。 また、種子島の調査では、これまでに知られていない産地から多数のカニ化石を採集することが出来たので、今後、研究を進めていきたい。 これら資料の研究成果の公表には1～2年程度かかるが、公表後は、常設展示の中で展示公開を行うように努めたい。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	322,000	179,270	55.7

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

11. 市之瀬廣太記念美術館定期展示会開催事業		評 価	A
【事業の概要】 郷土の美術、工芸作品や芸術家を紹介する企画展を開催し、美術・美術館・美術工芸品への関心を高める。 第28回企画展「瑞浪に残るのぞきからくり」を開催する。			
【事業の実績】 第28回企画展「瑞浪に残るのぞきからくり」 期 間 9月21日～10月25日 入館者 900人 本企画展は、通常の展示のみではなく、新潟市から借用したのぞきからくりを口上師(こうじょうし)によって実演(初日及び最終日のみ)し、体験型としたところが観覧者から好評であった。			
【事業の成果と課題】 展示の都合上、美術館で企画展を行うことが不可能なため、ミュージアム中仙道で開催した。900人の入館者を迎え、当市に残るのぞきからくり(押絵による美術工芸品・指定文化財)の公開に役立ったものとする。また、新潟からのぞきからくり屋台を借用・展示し上演を行ったため、明治から昭和初期に栄えた「のぞきからくり」に対する理解も得られたと考える。 今後も継続して企画展を開催していくとともに、「ミュージアムコンサート」等も実施し、来館者層の幅を広げる必要がある。			
決算の状況	予算額(円)	決算見込額(円)	執行率(%)
	809,000	802,109	99.2

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

12. 市之瀬廣太記念美術館彫刻講座等開催経費		評 価	B
【事業の概要】 美術・美術館への関心を高めるため、講座を開催する。 土人形づくり（定員 20 名、2 コース）と子供向けの造形体験講座（定員 10 名）を開催する。			
【事業の実績】 土人形づくり：15 名 ブロンズ粘土で夏の思い出作品づくり：8 名			
【事業の成果と課題】 本年度は、美術に関する関心を高めるため計画どおり 2 種の講座を開講した。ブロンズ粘土で夏の思い出作品づくりでは、8 月 1 日の講座終了後、館内で作品を展示、8 月 26 日に表彰式を行った際、受講者の方から来年もぜひ参加したいとの声もあった。 今後は、広報、HP のみならず学校等への配布物を含め講座の周知に努め、受講者にとって参加しやすい、興味ある講座内容を検討し実施したい。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	159,000	114,853	72.3

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

13. 市之瀬廣太記念美術館作品保存事業		評 価	A
【事業の概要】 市之瀬廣太氏制作の石膏・樹脂作品の恒久的保存のためブロンズ化を実施する。 樹脂作品「浮島の幻想 一人も又楽し」のブロンズ化			
【事業の実績】 樹脂作品「浮島の幻想 一人も又楽し」のブロンズ化を実施した。			
【事業の成果と課題】 石膏・樹脂作品の恒久的保存のため 1 作品のブロンズ化が実施できた。 収蔵 290 作品のうち、166 作品のブロンズ化を行っており、本事業をどこまで進めるかが課題である。 平成 27 年度中に破損度の高い石膏作品 10 作品のブロンズ化で本事業は終了する予定である。 平成 28 年度以降は、安全性を考慮した作品の台座固定の事業や作品の保管箱等の保存事業を実施していく必要がある。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1,296,000	810,000	62.5

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

14. こいのぼり祭り事業（市制60周年記念）		評 価	B
【事業の概要】 親子で楽しめるイベントとして市民公園でこいのぼり祭りを開催する。 また、このイベントを通じ市民公園内文化施設のPRを行う。			
【事業の実績】 期 間 5月3日～5日の3日間開催した。 内 容 施設4館入場料無料開放、こいのぼりの掲揚、大道芸人ショー、キャラクターショー（アンパンマン）、屋台の設営・運営、遊具の設営・運営			
【事業の成果と課題】 こいのぼり祭開催期間中の来場者は、来場者約4,500人と盛況に終わった。また、本年度は開催期間中3日間、文化施設を無料開放としたため、のべ12,000人の来館者があり、文化施設のPRに役立ったと考える。 課題としては、来場者の安全性確保、地域と連携したイベントの開催などがあげられる。 平成27年度は本年度の課題を解決し、事業を実施していく。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	2,000,000	1,948,900	97.5

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

15. 陶磁資料館作陶講座開催経費		評 価	B
【事業の概要】 陶芸や焼き物に触れる機会を提供し、また関心を高めるために体験講座を開催する。 作陶講座（8回）、また、絵付け体験（年2回）を開催する。			
【事業の実績】 8回の作陶講座に加え、絵付け体験講座を開催した。（括弧内は受講者数） 五月人形づくり（19人）、ケーキプレートづくり（4人）、ペアのそば猪口づくり（7人）、マイ植木鉢づくり（8人）、勾玉づくり（9人）、来年の干支づくり「未」（18人）、ひな人形づくり（11人）、ランチプレートづくり（4人）、絵付け体験（マグカップ・プチオカリナ）（144人／6日）			
【事業の成果と課題】 外部講師による作陶講座、絵付け体験講座とも受講者数が増加したが、情報提供が広報とホームページのみであり、より積極的に広報に努める必要がある。 平成27年度以降はダイレクトメールの送付、学校への情報提供等を検討していく。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	439,000	300,681	68.5

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

16. 陶磁資料館定期展示会開催事業 (市制60周年記念)		評 価	A																								
【事業の概要】 当市の伝統・地場産業である陶磁器生産・窯業史等に関連する展示会を開催し、郷土の歴史・文化等に対する関心を高める。 市制 60 周年記念事業特別展（2 回）と 5 回の企画展を開催する。																											
【事業の実績】 <table><tr><td>○センチメンタル「瑞浪陶芸協会展」</td><td>4 月 6 日～ 5 月 6 日</td><td>2,821 人</td></tr><tr><td>○美濃の鉄釉陶器</td><td>6 月 8 日～ 8 月 17 日</td><td>909 人</td></tr><tr><td>○瑞浪洋食器に咲いた花</td><td>9 月 4 日～ 9 月 19 日</td><td>232 人</td></tr><tr><td>○瑞浪市無形文化財三人展</td><td>9 月 27 日～ 11 月 3 日</td><td>1,673 人</td></tr><tr><td>○瑞浪市名誉市民 加藤孝造展</td><td>9 月 27 日～ 11 月 3 日</td><td>1,673 人</td></tr><tr><td>○米国のやきもの</td><td>11 月 23 日～ 2 月 15 日</td><td>549 人</td></tr><tr><td>○友の会作品展</td><td>2 月 22 日～ 3 月 22 日</td><td>345 人</td></tr><tr><td colspan="3">○図録「瑞浪ゆかりの無形文化財」発行（200 冊）</td></tr></table>				○センチメンタル「瑞浪陶芸協会展」	4 月 6 日～ 5 月 6 日	2,821 人	○美濃の鉄釉陶器	6 月 8 日～ 8 月 17 日	909 人	○瑞浪洋食器に咲いた花	9 月 4 日～ 9 月 19 日	232 人	○瑞浪市無形文化財三人展	9 月 27 日～ 11 月 3 日	1,673 人	○瑞浪市名誉市民 加藤孝造展	9 月 27 日～ 11 月 3 日	1,673 人	○米国のやきもの	11 月 23 日～ 2 月 15 日	549 人	○友の会作品展	2 月 22 日～ 3 月 22 日	345 人	○図録「瑞浪ゆかりの無形文化財」発行（200 冊）		
○センチメンタル「瑞浪陶芸協会展」	4 月 6 日～ 5 月 6 日	2,821 人																									
○美濃の鉄釉陶器	6 月 8 日～ 8 月 17 日	909 人																									
○瑞浪洋食器に咲いた花	9 月 4 日～ 9 月 19 日	232 人																									
○瑞浪市無形文化財三人展	9 月 27 日～ 11 月 3 日	1,673 人																									
○瑞浪市名誉市民 加藤孝造展	9 月 27 日～ 11 月 3 日	1,673 人																									
○米国のやきもの	11 月 23 日～ 2 月 15 日	549 人																									
○友の会作品展	2 月 22 日～ 3 月 22 日	345 人																									
○図録「瑞浪ゆかりの無形文化財」発行（200 冊）																											
【事業の成果と課題】 本年度は、市制 60 周年記念事業として特別展 2 回（無形文化財三人展・加藤孝造展）を開催した。加藤孝造展は文化センターで開催し、文化庁から創作活動風景を記録した映画の提供を受けることができ、また、無形文化財三人展では市の創作記録風景のビデオを上映することにより充実した特別展が開催できた。 また、特別展で展示した作品の内、瑞浪市が所蔵する作品の図録を刊行し、周辺の博物館等へ配布した。 入館者数は平成 26 年度から増加したが、より魅力的な展覧会の開催に努めて入館者のさらなる増加を図りたい。																											
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）																								
	3,466,000	3,201,231	92.4																								

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

17. 陶磁資料館定期刊行物発行経費		評 価	A
【事業の概要】 陶磁器・窯業史等に係る調査・研究成果等を掲載した「研究紀要」と瑞浪市の歴史・民俗・文化財等を紹介する歴史資料集を隔年で交互に発行する。 資料館の事業報告・公開のため年報（隔年）を発行する。 本年度は、歴史資料集 第3集を発行する。			
【事業の実績】 瑞浪市歴史資料集 第3集（500部）を発行した。研究論文として「番号の付けられたやきもの」を掲載した。			
【事業の成果と課題】 歴史資料集には1件の投稿があり、戦時中に瑞浪市内で生産した陶磁器製品を網羅的に掲載することができた。 今後も研究紀要・歴史資料集の刊行は継続するが、内容がやや専門的であるため、一般の方にはやや分かりにくい内容となっている。 今後は可能な限り写真や図、表などを多用した構成とするように努める。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	513,000	429,000	83.7

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

18. 陶磁資料館展示資料等購入整理事業		評 価	A
【事業の概要】 収蔵資料等を適切、かつ効率的に管理・公開するため、データベースの充実を図り、市ホームページを通じて収蔵品を紹介する。また、展示資料・研究資料等として活用するための備品、図書等を購入する。陶磁資料館特別展「瑞浪市無形文化財3人展」に併せ、文化財保持者の作品を購入する。			
【事業の実績】 市無形文化財技術保持者の作品を後世に保存し、また活用するため、伊村徳子氏（陶人形）1点、浅井礼二郎氏（粉引）1点の計2点の作品を購入した。			
【事業の成果と課題】 いずれも、市無形文化財認定後の最新作品（特別展展示作品）を購入することができた。 今後は一層の活用を図るため、こいのぼり祭りの期間等に展示する等してより多くの方にご覧いただけるように努める。また、今後は中期的な展示資料の購入計画を作成する。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	1,500,000	1,144,439	76.3

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第2位を切り上げた数値を記載

19. スポーツ教室等開催経費		評 価	B
【事業の概要】 市民が気軽に参加できるスポーツ環境づくりを図り、体力増強や健康維持につながる生涯スポーツの普及に努めるためスポーツ教室を開催する。 市制 60 周年記念「ラジオ体操」を含め 6 教室を予定している。			
【事業の実績】 ○弓道教室（9 回開催：12 名参加） ○水泳教室（9 回開催：128 名参加（稲津スポーツ・文化クラブと共催）） ○バドミントン教室（6 回開催：20 名参加）			
【事業の成果と課題】 市民が気軽に参加できるスポーツ環境づくりを図り、体力増強や健康維持につながる生涯スポーツの普及に努めた。 新規教室として、バドミントン教室を開催したため、参加者アンケートを実施したところ、高評価であったことから、目的は達成できたものと考えている。 平成 25 年度の弓道教室の参加者が、スポーツ教室の参加をきっかけとして、弓道連盟に加入し、今般初段を取得されたとのことで、生涯スポーツの普及に役立ったものと考えられる。 教室ごとの参加人数は昨年度より増加したが、調整不足により教室開催種目数が対前年度比で 1 教室減少したことから、今後教室の開催種目や周知方法等を検討し、参加者の拡大を図りたい。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	827,000	364,435	44.1

※予算額は予算現額を、執行率は小数点第 2 位を切り上げた数値を記載

20. トップアスリート交流事業 (市制60周年記念)		評 価	A
【事業の概要】 子どもたちと一流のスポーツ競技者との交流を図るためのスポーツ教室、講演等の交流事業を年2回開催する。 市制60周年記念事業としてダイヤモンド・キッズ・カレッジとゴルフ教室を開催する。			
【事業の実績】 7月13日 ダイヤモンド・キッズ・カレッジ(高田延彦他):教室263名参加 3月21日 ゴルフ(倉本昌弘)講演、体験教室:講演会160名、教室34名参加			
【事業の成果と課題】 本事業の実施については、開催種目に関係する市内の団体から協力をいただいております、今年度も市体育協会、市ゴルフ協会などの団体に協力していただいた。 平成26年度は、市制60周年記念事業として、7月にダイヤモンド・キッズ・カレッジ(高田式体育教室)を、3月にゴルフ講演&体験教室を開催した。 一流選手との交流により子どもたちのスポーツに取り組む意欲の向上に努めた。 今後事業を継続するにあたり、年間の開催回数を1回として内容の充実に努める。 また、種目の選定については、長期計画を立ててトップアスリート(メダリスト)の人选、開催時期の調整、市内団体の協力体制に留意する必要がある。 ゴルフ教室においては、講師の倉本昌弘氏の取り計らいにより、日本プロゴルフ協会からスナッグゴルフ用具2セット(約50万円相当)の寄贈を受けた。次年度は、スポーツ推進委員と協議しながら、寄贈品の活用方法について検討する。			
決算の状況	予算額(円)	決算見込額(円)	執行率(%)
	5,387,000	5,367,808	99.7

21. ウォーキングコース整備事業 (市制60周年記念)		評 価	B
【事業の概要】 市制 60 周年記念事業として、市民の軽スポーツ推進や身近な場所での健康づくりに活用するため、市内各地区のウォーキングコースを整備する。			
【事業の実績】 市内 8 地区に 9 コースの「瑞浪市いきいきウォーキングコース」を設定 発着点にコース看板を設置 ウォーキングマップを作成し市内に全戸配布			
【事業の成果と課題】 市内 8 地区（瑞浪、土岐、明世、日吉、稲津、陶、釜戸、大湫）に 9 コースの「瑞浪市いきいきウォーキングコース」を設定した。設定にあたっては、各地区まちづくり推進組織の協力のもと、市スポーツ推進委員が現地調査を行った。 今後は、ウォークラリーを実施してコースの利用増加を図るとともに、各地区のまちづくり推進組織や市スポーツ推進委員の活動においてコースを活用した各種事業を実施するよう働きかける。			
決算の状況	予算額（円）	決算見込額（円）	執行率（％）
	3,000,000	1,728,097	57.6

Ⅳ. 教育委員会点検評価委員会のまとめ

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項、瑞浪市教育委員会点検評価実施要領第2条第2項の規定により、教育委員会点検評価委員会を開催し、教育委員会の6部署から提出された62事業について、3回に亘って審査を行いました。

点検・評価にあたっては、各種事業の方針と重点を示した上で、評価シートを基に事業担当課からのヒアリングを通して、教育委員会の事務の管理及び執行の状況を詳細に知ることができました。また、6名の評価委員が、それぞれの立場・見識で質疑できたことは、この検証・評価をより確かなものにすることができたと考えます。

平成26年度に行われた教育委員会の事務事業は、前年度の「点検・評価」を踏まえ、的確な検証・自己評価を基に、一部執行出来ない事業もありましたが、適切に計画・実施され、全体的には一定以上の成果を得たものと考えます。

今後も、財政状況の厳しい中ではありますが、各事業における一層のコスト削減と、効率的な事務の執行に努められるようお願いします。

また、今回の点検評価委員会の意見や事業担当課の自己評価の反省が、今後、計画される事業に反映されるとともに、点検評価報告書が教育委員会事務事業の透明性を図り、瑞浪市の教育の更なる進展につながるものとなることを願います。

平成27年7月

瑞浪市教育委員会点検評価委員会

瑞浪市教育委員会点検評価委員（敬称略）

任期 26.4.1～28.3.31（2年）

役職名	氏 名	備 考
委員長	あつ み まさ のり 厚 見 正 紀	元瑞浪市教育振興基本計画策定委員会委員長
委 員	い とう か よ こ 伊 藤 加代子	（委員長職務代理者）、元瑞浪市教育委員
委 員	み わ たけ ひこ 三 輪 武 彦	瑞浪市社会教育委員
委 員	あり が たか こ 有 賀 たか子	瑞浪中学校評議員
委 員	つか もと せい こ 塚 本 誓 子	瑞浪市PTA連合会母親委員 （平成27年4月1日就任）
委 員	なか し ま てん 中 島 恬	瑞浪市化石博物館協議会委員

点検評価委員会開催回数（3回）

回	開 催 日	会 場
1	平成27年6月17日（水）	瑞浪市役所全員協議会室
2	平成27年6月18日（木）	瑞浪市役所4階会議室
3	平成27年7月14日（火）	瑞浪市役所全員協議会室